

ISSN 0454-8302

神奈川歯学

KANAGAWA SHIGAKU



神奈川歯科大学学会雑誌 第54巻 第1号

The Journal of the Kanagawa Odontological Society

Vol.54. No.1 June 2019

目 次

原 著

- 支台築造用コンポジットレジンの曲げ強さと接着性
..... 和田悠希, 青木(三宅)香, 亀山祐佳, 大橋 桂
緑野智康, 押川亮宏, 下山和夫, 二瓶智太郎 (1)
- 口腔原発線維増殖性病変の鑑別に関する免疫組織化学的研究
..... 東 雅啓, 長澤孝浩, 窪田展久, 猿田樹理
澗田慎也, 坂口和歌子, 清水智子, 鎌田要平
栗本勇輝, 駒津栄雄, 槻木恵一 (10)

症 例

- 歯科金属アレルギーのため腹部大動脈狭窄症への
ステントグラフト挿入術を中止した一例
..... 佐藤温洋, 古出智子, 青木一孝 (18)
- 顎矯正手術を併用せずに矯正単独治療を行った下顎側方偏位を伴う
骨格性上顎前突症例
..... 石渡麻美 (23)
- 外科的矯正治療を行った
下顎の clockwise rotation を伴う骨格性下顎前突症例
..... 青木香穂, 岩田敏男, 大貫真美, 秋本 進 (30)
- スクエアスロットを用いたリングラストレートワイヤー法にて
治療を行った Angle I 級叢生症例
..... 矢崎諒太, 竹元京人 (36)
- 上下顎骨切術を施行した逆 cant を伴った顔面非対称症の一例
..... 窪田光慶, 石渡麻美, 鈴木健司
不島健持, 小林 優 (43)

宿題報告

- 感染歯髄組織に対する MTA 直接覆髄処置後のデンティンブリッジ形成機序の解明
..... 武藤徳子 (51)

研究室紹介

- 神奈川歯科大学大学院歯学研究科口腔科学講座
クリニカル・バイオマテリアル学分野
..... 二瓶智太郎 (54)

会報 (56)

学会および集会 (60)

神奈川歯学投稿規定および投稿の手引き (61)

支台築造用コンポジットレジンの曲げ強さと接着性

和田 悠 希 他 7 名

神奈川県立歯科大学大学院歯学研究科口腔科学講義クリニカル・バイオマテリアル学分野

本研究は支台築造用コンポジットレジンの性能を明らかにするために6種の市販レジンの機械的強度、および歯質接着性を比較検討した。機械的強度は室温保管、水中保管、およびサーマルストレス負荷後の3点曲げ試験により、歯質接着性は水中保管後の引張接着試験により測定した。その結果、曲げ強さは象牙質と比較してやや低く、曲げ弾性率は象牙質と近似した値を示し、歯根破折の予防に有用であることが示唆された。一方、接着強さは材料のシステムにより異なり、十分な接着強さが得られるとは限らず、今後さらなる検討が必要であると示唆された。

口腔原発線維増殖性病変の鑑別に関する免疫組織化学的研究

東 雅 啓 他 10 名

神奈川県立歯科大学大学院歯学研究科口腔科学講座

神奈川県立歯科大学大学院歯学研究科高度先進口腔医学講座

神奈川県立歯科大学総合教育部

口腔は刺激を受ける機会が多く、それゆえ線維過形成性病変が高頻度で生じる臓器である。外傷や慢性的な刺激に対し反応性に増殖する線維腫は刺激性線維腫と呼ばれ、腫瘍性に発生した線維腫（腫瘍性線維腫）とは区別されているが、組織学的な鑑別は難しいことが多い。即ち、刺激性線維腫と診断された症例でも、刺激の発生状況等の臨床情報が乏しいことが多く、刺激性線維腫に腫瘍性線維腫が含まれている可能性を否定できない。一方、義歯の刺激が原因で発生した線維過形成性病変は義歯性線維腫と呼ばれ、真の刺激性線維腫といえる。そこで、義歯性線維腫と腫瘍性線維腫を比較することで、線維増殖性病変における組織学的な鑑別点を明らかにする目的で検討を行った。

対象症例は、線維増殖性病変のうち腫瘍性線維腫 15 例（真の線維腫 4 例、周辺性歯原性線維腫 11 例）と、義歯性線維腫 15 例の合計 30 例を用いた。線維組織の性状診断にはマッソントリクローム染色を行った。CD34、Bcl-2 および Ki-67 の免疫組織化学的な発現解析には酵素抗体（SAB）法を用いた。また、細胞数および免疫組織化学的陽性細胞率の平均値を求め、それぞれの差をウェルチの T 検定で統計解析した。

CD34 の発現は、義歯性線維腫の紡錘形細胞に高レベルで観察されたが、腫瘍性線維腫には認められなかった。Bcl-2 の発現は、腫瘍性線維腫で強い陽性像が観察されたが、義歯性線維腫では低レベルであった。Ki-67 陽性細胞率は義歯性線維腫より腫瘍性線維腫で有意に高かった。また、細胞数も同様の結果を示した。マッソントリクローム染色では、腫瘍性線維腫より義歯性線維腫にコラーゲン線維の増生が観察された。腫瘍性線維腫と義歯性線維腫は、組織学的および免疫組織化学的に異なった性状を呈し、これらの所見が線維増殖性病変の鑑別に有用である可能性が示唆された。

歯科金属アレルギーのため腹部大動脈狭窄症へのステントグラフト挿入術を中止した一例

佐藤 温 洋 他2名

神奈川歯科大学大学院歯学研究科全身管理医歯学講座内科学

71歳男性。掌蹠膿疱症のため神奈川歯科大学附属病院でパッチテストを行い歯科金属アレルギーが原因と診断され、歯科治療で掌蹠膿疱症が改善した。今回、腹部大動脈狭窄症による下肢虚血のため下肢疼痛が出現。他院でコバルトクロム合金を含むステントグラフト挿入術を勧められたが精査希望し来院。パッチテストでコバルトとクロムのアレルギーは否定的だったが金属アレルギーの既往歴を重視し、ステント挿入術を中止した症例の報告である。

顎矯正手術を併用せずに矯正単独治療を行った下顎側方偏位を伴う骨格性上顎前突症例

石渡 麻美

上大岡にしだ歯科クリニック

下顎側方偏位の治療においては、審美的、機能的な咬合の獲得をするという観点から顎矯正手術を行わなければ治療が困難なことが多い。本症例では外科的手術を併用せず矯正単独治療により下顎側方偏位を伴う骨格性Ⅱ級症例を治療し、良好な結果が得られたので報告を行った。

外科的矯正治療を行った下顎のclockwise rotationを伴う骨格性下顎前突症例

青木 香穂 他3名

神奈川歯科大学附属病院矯正科

顎変形症による骨格性下顎前突症のうち、外科的矯正治療を適用する患者においては、咬合や顎顔面骨格の異常のみならず、咀嚼障害や発音障害という機能的問題を伴うことが多い。骨格的下顎前突症の垂直的形態異常は、著しい短顔系や長顔系の顎顔面形態を伴うもの、それぞれ時計回りあるいは反時計回りに回転しているものがある。それらの症状を把握した上で外科手術による上下顎の位置づけや術前矯正の方向性が決定される。

本症例は、上下顎骨が時計方向に回転している症例であり、上下顎骨の位置づけには極めて苦慮した。今回、これらを改善するために上下顎移動術を併用した外科的矯正治療を行った経験をしたため、ここに報告する。

スクエアスロットを用いたリンガルストレートワイヤー法にて治療を行った Angle I 級叢生症例

矢 崎 諒 太 他1名

竹元矯正歯科（千葉県）

歯の裏側に装置をつけて矯正治療を行うことを舌側矯正治療と呼ぶ。舌側矯正治療は 1970 年代に誕生して以来、長い間大きな変化がなかった。2000 年になりストレートワイヤー法と呼ばれる手法が誕生し治療が非常に簡便化された。今回はそのストレートワイヤー法を用いて舌側矯正治療を行い、短い期間で良好な治療結果が得られ、有用性が確認できたので報告する。

上下顎骨切術を施行した逆 cant を伴った顔面非対称症の一例

窪 田 光 慶 他4名

神奈川歯科大学大学院歯学研究科歯学教育学講座

上大岡にしだ歯科クリニック

神奈川歯科大学大学院歯学研究科顎顔面病態診断治療学講座顎顔面外科学分野

神奈川歯科大学大学院歯学研究科高度先進口腔医学講座歯科矯正学分野

本症例は顔面非対称及び反対咬合を主訴に来院した外科矯正治療の症例報告である。通常とは異なり上顎の咬合平面の低位側とは逆に下顎が偏位する稀な逆 cant 症であった。臨床所見では小白歯の先天欠損、過大な上顎歯列幅径、偏位側臼歯部の交叉咬合を伴わないなどの所見を示した。治療は、術前矯正を行なった後、骨格重視で下顎骨の位置づけを行ない、上下顎同時骨切術を施行した。術後顔貌ならびに顔面骨格での左右対称が得られた。

編集後記

雨に生える紫陽花の花も美しく清々しい季節になりました。

ご投稿、査読をしていただきました先生方並びに今回の神奈川歯学 54-1 号制作に関わられた皆様に心より御礼申し上げます。

今号は、原著論文がクリニカルバイオマテリアルの和田悠希先生と口腔科学の東 雅啓先生の 2 本、症例報告として内科学の佐藤温洋先生、上大岡にしだ歯科クリニックの石渡麻美先生、矯正の青木香穂先生、竹元矯正歯科の矢崎諒太先生並びに総合教育の窪田光慶先生の 5 本を掲載させていただきました。また、宿題報告として口腔科学の武藤徳子先生に、分野紹介としてはクリニカルバイオマテリアルの二瓶智太郎先生にご協力をお願いし、掲載し、充実の内容をお届けできることとなりました。

最後に、近年投稿数・掲載数が減少してきている中で、皆様の本誌へのご協力のおかげで数多くの幅の広い内容を掲載できましたことを感謝申し上げ、引き続き諸先生方のご協力のもと、魅力のある学会誌にしていきたいと思っておりますので、今後とも本誌へのご協力をお願いしてまとめさせていただきます。

(神奈川歯学編集委員、口腔統合医療学講座、星 憲幸 記)

神奈川歯科大学学会雑誌 編集委員会

委員長 山本 龍生

編集長 吉野 文彦

青山 典生 岩渕 博史 猿田 樹理 高橋 聡子
二瓶智太郎 星 憲幸 森本 佳成

神奈川歯科大学学会理事

石井 信之 木本 克彦 高橋 理 高橋 俊介
槻木 恵一 浜田 信城 山本 龍生

神奈川歯学 第 54 巻 第 1 号

令和元年 6 月 20 日 印刷

令和元年 6 月 30 日 発行

発行者 石井 信之

発行所 神奈川歯科大学学会 電話 046-823-9415

横須賀市稲岡町 82 神奈川歯科大学内 〒238-8580

印刷所 株式会社 福田印刷 電話 093-371-3231

福岡県北九州市門司区原町別院 3-5 〒800-0037

学会告知板

☆第53巻合併号より、新しい投稿規定に準拠して投稿をお願いします。また、査読体制が強化されました。必要な倫理審査がされていない論文は受け付けられませんので、ご注意ください。

☆住所変更について

住所を変更された会員は学会誌の発送などに支障をきたしますので、速やかに新住所および電話番号を下記の学会事務局にご連絡下さい。なお、ご連絡の際は会員 No. をお知らせ下さい。

学会事務局連絡先

☎ 046-823-9415（直通電話・FAX 共用）

E-mail : gakkai@kdu.ac.jp

目 次

原 著

- 支台築造用コンポジットレジンの曲げ強さと接着性
..... 和田悠希, 青木(三宅)香, 亀山祐佳, 大橋 桂
緑野智康, 押川亮宏, 下山和夫, 二瓶智太郎 (1)
- 口腔原発線維増殖性病変の鑑別に関する免疫組織化学的研究
..... 東 雅啓, 長澤孝浩, 窪田展久, 猿田樹理
澗田慎也, 坂口和歌子, 清水智子, 鎌田要平
栗本勇輝, 駒津栄雄, 槻木恵一 (10)

症 例

- 歯科金属アレルギーのため腹部大動脈狭窄症への
ステントグラフト挿入術を中止した一例
..... 佐藤温洋, 古出智子, 青木一孝 (18)
- 顎矯正手術を併用せずに矯正単独治療を行った下顎側方偏位を伴う
骨格性上顎前突症例
..... 石渡麻美 (23)
- 外科的矯正治療を行った
下顎の clockwise rotation を伴う骨格性下顎前突症例
..... 青木香穂, 岩田敏男, 大貫真美, 秋本 進 (30)
- スクエアスロットを用いたリングストレートワイヤー法にて
治療を行った Angle I 級叢生症例
..... 矢崎諒太, 竹元京人 (36)
- 上下顎骨切術を施行した逆 cant を伴った顔面非対称症の一例
..... 窪田光慶, 石渡麻美, 鈴木健司
不島健持, 小林 優 (43)

宿題報告

- 感染歯髄組織に対する MTA 直接覆髄処置後のデンティンブリッジ形成機序の解明
..... 武藤徳子 (51)

研究室紹介

- 神奈川歯科大学大学院歯学研究科口腔科学講座
クリニカル・バイオマテリアル学分野
..... 二瓶智太郎 (54)

会報 (56)

学会および集会 (60)

神奈川歯学投稿規定および投稿の手引き (61)